



吉岡建築(愛知県津島市、吉岡伸久社長、0567・2

米国風デザインの注文住宅

良い家へのこだわり 好評



5・3625)の米国風デザインと資材を取り入れた注文住宅(写真)が好調だ。愛知県を中心に受注数は2010年8月期の2棟から11年8月期は13棟に増える見通し。今

注文しても、引き渡しは1年後という人気だ。

「顧客の希望を徹底的に聞き、世界各地からえりすぐりの技術や資材で形にする」(吉岡社長)とのこだわりが

吉岡建築

売り。気密性が高く2万色から選べる内壁「ドライウォール」や、耐久性の高いコンクリートの基礎材などで、冬でも暖かく快適に過ごせる。機能性に加え、輸入品のシステムキッチンなどを採用した米国のホームドラマのような内装も人気だ。坪単価は50万~70万円。同社では受注が好調な要因を「本当に良い家に住みたい」という消費者が増えたのでは(同)と分析する。11年からは愛知県全域で見学会の回数を増やし、受注に弾みを付ける。(名古屋)

次世代航空管制システム

ファイリピンから受注 住 商

住友商事は仏タレスの制システムを導入する計画で、住友商事とタレスが受注したのはパッケージ1。契約金額は約90億円。2013年5月に完了する予定。住友商事は引き続き、パッケージ2の受注を目指す。受注に基づき、住友商事は二ノイ・アキノ国際

空港内の新航空管制センターの建設、新航空管制センターとファイリピン国内の主要空港約25カ所に設置する航空管制シ

システムの納入を行う。パッケージ2はファイリピン国内の10空港を対象とするレーダーの設置や、パッケージ1で導入する管制センターと地方主要空港を結ぶ通信設備を納入するもので、住友商事は引き続き受注を指して活動する計画。

観光特産物で検定制度

販路コーデイナータ協が創設

【さいたま】日本販路コーデイナータ協会(東京都北区、小塩稻之理理事長、03・3598・6898)は、全国の特産品に関する知識向上を促す「全国観光特産物検定制度」を創設した。中小食品メーカーの商品開発力アップなどにつなげるのが狙い。2011年中に初等レベルで1000人前後の認定を予定している。

同協会は「販路コーデイナータ資格」の認定機関。市場調査、製品開発、販路開拓などの専門家を育成・派遣し、中小メーカーを支援している。

依頼の7~8割が食品関連なのを受け、食品に特化した認定制度を新たに設けた。「各地の食文化を知ることが、広域のマーケティング戦略策定に役立つ」(事務局)としている。

商社・物流・医食住